

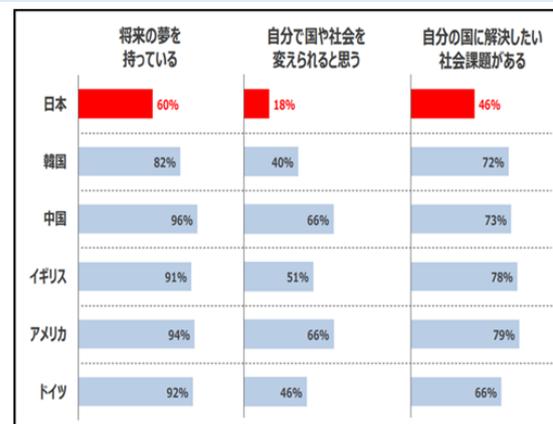
小学生がプロデュース！地域の魅力を動画で発信

柏市立大津ヶ丘第一小学校では、「大津一小ふるさと PR 大作戦！」と題し、企画・取材・撮影・編集を全て児童が行った地域の魅力を伝える PR 動画を制作しました。地域の店舗や自然、農業などをテーマにした10本の動画は、児童たちならではの視点と創造力で、地域の良さを発信しています。

この活動は、令和5年度よりコミュニティ・スクールの一環として取り組んでいる「自分たちの地域をより良くする」をテーマとした創造的な学習であり、児童たちなりの方法で地域に貢献することを目指しています。

1 事業の背景⇒国や社会への関心が低い若者が多い

経済産業省の「未来人材ビジョン」（令和4年5月）による18歳意識調査（出所：日本財団）では、「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」と回答した日本の18歳はわずか18%にとどまり、他国と比較して非常に低い結果となりました。また、「自分の国に解決したい社会課題がある」と感じている割合も他国より少なく、「将来の夢を持っている」と答えた若者の割合も同様に低い傾向が見られます。



18歳意識調査（経済産業省「未来人材ビジョン」）

これらの結果は、日本の若者が国や社会への関心が薄く、自ら課題に取り組む主体的な意欲が乏しいことを示しています。その背景には、これまで国や社会、地域の課題について深く考えたり、具体的な解決に向けて行動を起こしたりする機会が十分に提供されてこなかった現状があるのではないのでしょうか。

2 事業の目的⇒児童たちが身近に感じる「地域」から関心を

大津ヶ丘第一小学校では、「よりよい学校教育を通じて、よりよい国や社会を創る」という理念を掲げています。この理念を学校と地域社会が共有し、学びの場を学校外にも広げることで、社会に開かれた教育課程の実現を目指しています。しかし、小学生が国や社会全体を変えることは容易ではありません。そこで、令和5年度よりコミュニティ・スクールの一環として「自分たちの地域をより良くする」テーマとした創造的な学習を進めており、児童たちなりの方法で地域に貢献することを目指しています。

3 事業の工夫⇒児童が作る地域の魅力発信動画

今年度の6年生は、昨年度（5年生の時）にコミュニティ・スクールの一環として、「大津ヶ丘アクティブ大作戦！」と題した、地域の良さを紹介するWebページを制作しましたが、「閲覧者が限られる」という課題が残りました。その反省を踏まえ、今年度はより視覚的で鑑賞しやすい動画制作として「大津一小ふるさとPR大作戦！」に挑戦しました。GIGAスクール構想で整備された1人1台の端末を活用し、児童たちの強みであるデジタルスキルを駆使して、地域の店舗や施設、農業、野鳥など、計10テーマをそれぞれ約1分間の短いPR動画にまとめました。また、端末を学校外に持ち出して撮影を行ったり、家庭ではクラウドを活用した共同作業を進めるなど、全工程を自主的に実施しました。さらに、多くの人に見てもらえるよう、YouTubeでの公開や地域イベントでの発表などの積極的なプロモーション活動にも取り組んでいます。



取材の様子



撮影の様子

4 事業の効果⇒地域への関心惹起・愛着醸成

今回の動画制作を通じて、児童たちは地域の魅力を深く学び、自分たちで考え、協力して取り組むことの楽しさや達成感を味わいました。特に、地域の人々との交流を重ねる中で、多くの気づきや喜びを得ることができました。このような交流は、昨年度の「大津ヶ丘アクティブ大作戦！」や下級生時代の学習で培った経験を土台にしており、「お世話になった方に自分たちの強みを生かして恩返しをする」という地域への愛着を育み、主体的で意識の高い活動に発展しました。そのため、作成した動画は、児童の創造力と主体性が発揮された作品となっています。

(1) 児童の声

- 野鳥について動画を作った児童

「野鳥の特徴を動画で伝える方法をメンバーと一緒に考え、地域の良さを広めることができ嬉しいです。」

- ランチ会を企画・運営した児童
「自分たちで考えたメニューを地域の方に提供し、『美味しかった』とってもらえてとても嬉しかったです。」
- 編集作業について
「撮影や編集で失敗することもありましたが、みんなで助け合いながら完成させることができました。」
- 地域との交流について
「学校で開催した野鳥写真展やひまわりプラザでの研究発表が盛り上がり、地域の方々からのリアクションが自信につながりました。」
「『大津ヶ丘はいい場所だね』という声をいただけたことが何より嬉しかったです。」

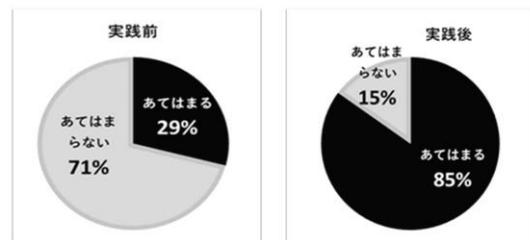
(2) 達成感と大きな成長

この活動を通じ、自分たちの取り組みが地域の活性化に役立つことを実感することができました。

活動前後のアンケート結果によれば、「自分には周囲の世界を変える力があると思うか」

という質問に対し、活動前は否定的な回答が71%を占めていましたが、活動後には肯定的な回答が85%に増加しました。この変化は、地域の方々からの多くの賞賛が児童たちの「創造性に対する自信 (Creative Confidence)」を高めたことを示しています。

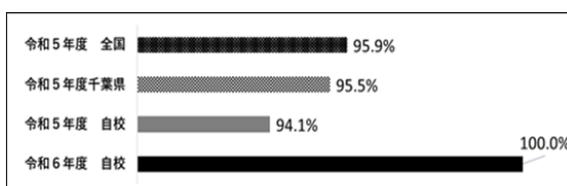
さらに、令和6年度全国学力・学習状況調査における児童質問紙調査では、次のような肯定的な結果が得られています。



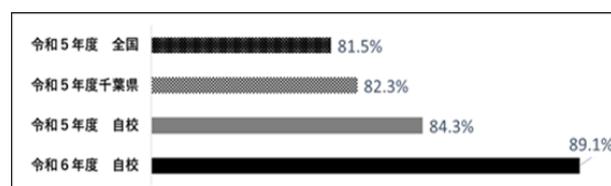
自分には周囲の世界を変える力があると思うか

- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」：肯定的回答 100%
- 「将来の夢や希望を持っていますか」：肯定的回答 89.1% (前年比 4.8%増)

これらの成果から、大津ヶ丘第一小学校の児童たちは、未来への希望とより良い社会を自分たちが創る意欲を持つことができました。



人の役に立つ人間になりたいと思いますか



将来の夢や希望を持っていますか



公民館で自分たちの作品を紹介している様子

5 参考⇒昨年作成した「大津ヶ丘アクティブ大作戦！」の紹介

昨年度の5年生（今年度の6年生）が作成した「大津ヶ丘アクティブ大作戦！」は現在も公開中です。こちらもぜひご覧ください。



▲大津ヶ丘アクティブ大作戦 HP

6 最後に⇒柏市教育委員会からのコメント

急速に変化する社会の中で、変わらないことがあります。それは、新しい価値を生み出すのは「人」であり、その「人づくり」を牽引するのが「教育」であるということです。

このたびの大津ヶ丘第一小学校の児童による「大津一小ふるさとPR大作戦！」は、まさに地域をテーマに、「自分たちの地域をより良くしたい！」という強い想

令和7年1月31日

柏市役所

いをもとに、児童が主体的に取り組んだ素晴らしい事例です。時には壁にぶつかりながらも、児童たち同士で協力し、連携し合いながら、新しい価値を生み出すことに成功しました。この取り組みは、児童たちの創造性と実践力を示す貴重な成果といえます。

柏市教育委員会では、こうした先進的かつ地域と連携した取り組みを柏市内の他の学校にも広げていけるよう、引き続き支援してまいります。